

すく 少ない光を大きな目でみるよ



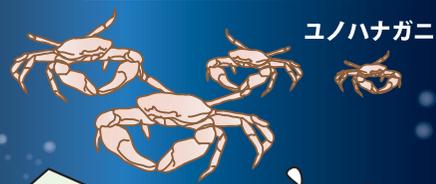
ダイオウイカ

なが はな どうく のように つか じ めん
長い鼻を道具のように使い地面をほって
エサをさがすよ



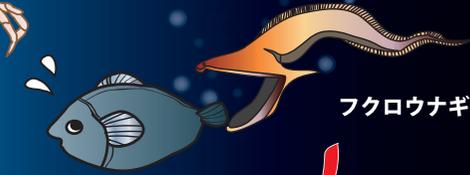
ゾウギンザメ

め 目はないけど、腕に生えた毛でエサの場所がわかるよ

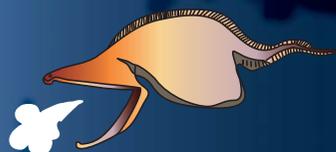


ユノハナガニ

しんかい 深海の生き物はエサが少くない
かんきょう 環境でも生きていけるよう
エ夫 工夫しているんだ



フクロウナギ



オニボウズギス

おお くち じぶん からだ おお
大きな口で自分の体より大きいエサを
のみこんで、たまにであった貴重な
エサは逃がさないよ

いぶくる 胃袋がのびちぢみするから大きいエサを
飲み込んで、しばらく食べなくても OK !

ひかり 光のには理由があるのか...
おや?
あの生き物はなんだらう。
どうしてあんな形をして
いるのかな?

それにも理由があるんだ



水深 1,000メートル
ここは、トワイライトゾーンと
呼ばれる世界

はかせ、たった今
トワイライトゾーンに
入ったよ。なんだかここは、
光る生き物が多いけど、
何か理由があるの?

お、いい質問だね。暗い世界で
光って見える深海の
生き物たちは自分の光を
うまく利用しているんだ。

しんかい 6500

G.D.A.C.

一般公開用

このしんぶんは、
海やちぎゅうのこと
J.A.M.S.T.E.C.の
ニュースなどを
ごしやうかいします。

2014年11月

こうしたユニークな形を
している深海生物だけど、
中にはとてもおいしいと
いわれているものもあるんだ。

へったべられるの?

てき 敵から逃げる

あれどどっちだ?

エサをおびきよせる

ほらおいで

けっこん 結婚相手を探す

お、あのサインは
仲間だ!!

自分のかけを消してかくれる

ばれてない
ばれてない

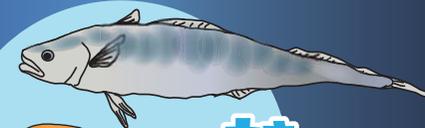
エサをおびきよせたり、結婚
相手をおびきよせたり、自分の身を
守ったりと、光の使い方は生き物に
よってさまざまなんだ。

←ウラにもあるよ!

高圧から体を守るために
体内に脂をもつ生き物が多く
それがうまみとなっておいしいと
いわれているよ。

ただ、そうした生き物の中には
人間が消化できない脂をもつものもいて、
市場に出回らないものもあるんだ

へえ！こんなにあるんだ。
人間が深海生物ってわからないで
食べているものも多そうだね



ホキ



フッシュンバーガー

スズキ



めんたい



ギンダラ



アサギ



あんこう



あんこうなべ



タカマンガ

結構、深いところまできたよ。
どんどん生き物が少なくなってきたなあ
一番深いところにすんでいるのは
どんな生き物なの？

カイコウオオソコエビという生き物が
知られているよ

世界最深部は、マリアナ海溝チャレンジャー海淵
といって水深一万m以上もあるんだ。

とてもふかいなあ

彼らは僕らが想像できないような
とても深いところにすんでいるんだ



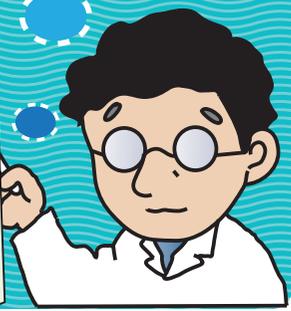
カイコウオオソコエビ

採取した深さ
水深 10,899m

カイコウオオソコエビ以外の生き物は
いないの？



ナマコ



このほかに、ナマコの仲間や海底下には、
無数の微生物がいることもわかってるんだ

深海やそこに生きる深海生物って
不思議でおもしろい！もつともつと
知りたくなった！

